

2021年2月4日

新菱の抗ウイルス・抗菌スプレーに関する新型コロナウイルス不活化効果について

三菱ケミカル株式会社
株式会社新菱

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之）のグループ会社である株式会社新菱（本社：福岡県北九州市、社長：江藤 俊郎、以下「新菱」）は、今般新たに開発した抗ウイルス・抗菌スプレーについて、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対する効果確認のための評価試験を行い、99.9%以上のウイルスを不活化したという結果を得ましたのでお知らせいたします。なお本評価は、一般財団法人日本繊維製品品質技術センターで実施しました。

【抗ウイルス試験 評価概要】

（1）評価方法（ISO21702:「プラスチック及びその他の非多孔質表面の抗ウイルス活性の測定」準用）
プラスチック試験片に抗ウイルス・抗菌スプレーを塗布してから4週間放置した後、試験片にSARS-CoV-2液を滴下しました。その上にフィルムを被せて密着させ、25°Cで24時間静置。その後、試験片から新型コロナウイルスを洗い出し、そのウイルス感染価を測定することで不活化効果を確認しました。

（2）評価結果

99.9%以上の新型コロナウイルス不活性化が認められました。

※使用した新型コロナウイルス株：SARS-CoV-2 JPN/TY/WK 521（国立感染症研究所より分与）

※使用した細胞：VeroE6/TMPRSS2（JCRB細胞バンク）

※使用したSARS-CoV-2液：0.4mLのウイルス液（濃度： 10^7 PFU/ml）

※スプレー塗布量：5cm角の試験片に0.4mL（2プッシュ相当）

以上

＜プレスリリースに関するお問合せ先＞

株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 TEL 03-6748-7140

＜抗ウイルス・抗菌スプレーに関するお問い合わせ先＞

株式会社新菱 ヘルスケア事業推進室 TEL 093-643-2875